

城山公園岩の鼻から撮影した善入寺の中州



川の景色が変わった

国土交通省の災害復旧工事

川島潜水橋の上流部で「川の景色」が変わるほどの大規模な工事が行われています。

この工事は国土交通省が行っているもので中州に堆積した土砂約40,000m³の掘削を行っています。

工事箇所は川島潜水橋から上流へ約520メートルで幅70〜200メートルです。工事前は柳などの雑木がありましたが全て取り除かれました。

また、昨年の台風11号、12号による出水により「岩の鼻」付近の河岸部が損傷しており、その復旧のために学のリオン跡地で根固ブロック（6T型）約1,200個を製作しています。



パチンコミリオン跡地

根固ブロックの製作と、中州の土砂掘削は一つの事業になっており、合わせた工費は約1億9千万円です。作られた根固ブロックは10月から別の工事として「岩の鼻」下の河岸部の約210メートルの範囲に設置されます。ここ数年大きな台風が相次ぎ、善入寺では阿波麻植大橋下付近でも災害復旧工事が行われています。災害復旧とはいえ、川島から見る「川の景色」が一変する大工事です。国土交通省は地元住民に何らかの説明をするべきではないでしょうか。

25年後 市の人口29380人

若者の流出を食い止める方法は

「日本創世会議」が昨年発表した人口試算は、全国の自治体の約半数が将来消滅する可能性を示し衝撃的なニュースとして取り上げられました。

この人口試算で出されている吉野川市の人口は2010年の44,020人から2040年には29,380人に減少しています。

徳島県の8市の人口も下記の表の通り大幅に減少しますが、特に山間部ほど減少幅が大きく三好市は78%も減少すると予想されています。

人口減少の大きな要因は大都会への若者の流出で、これを食い止めるために、若者が住みよい街作りをするのが大きな課題になっています。

これまで吉野川市は子育て支援などを行ってきたが、他市町も行っているため人口減少に歯止めはかからず合併時の人口45,459人から現在43,261人に減少しています。

市は今後、人口減少に負けないまちづくりとして、安定した雇用【仕事作り】を創出することや、結婚・妊娠・出産・子育て支援などを行うために来年までに「戦略」を練ることにしています。

しかし、県内の雇用状況は厳しく、若者は不安定な派遣労働者が多い状況下にあります。政府が行った労働力調査（平成27年速報）でも、日本の労働者約5200万人のうち約38%の1980万人が派遣やアルバイト、パートなどの非正規雇用です。

「日本創世会議」が発表した人口試算（徳島県内8市）

	2010年	2010年	2040年	2040年
	総人口	20-39歳女性	総人口	20-39歳女性
徳島市	264,548	32,639	201,643	16,614
鳴門市	61,513	6,814	43,199	3,435
小松島市	40,614	4,459	26,937	2,208
阿南市	76,063	7,943	55,005	4,510
吉野川市	44,020	4,393	29,380	2,069
阿波市	39,247	3,894	24,154	1,649
美馬市	32,484	3,013	18,834	1,135
三好市	29,951	2,137	11,753	471

若者を安定した正規雇用につかせることが結婚や出産、子育てを支援することになります。増やして、今や市の全職員671人のうち261人（38%）が非正規職員の市に「安定した雇用」を創出することができるとは、なかなか。